

## 臨床研修病院

臨床研修とは、医学部を卒業した後に行われる初期研修をいいます。医師としての基本的な知識・手技などはこの期間に習得されるため、医師の教育において特に重要となっています。また、その教育を行う臨床研修病院には、基幹型臨床研修病院と協力型臨床研修病院という二つの種類があります。基幹型臨床研修病院とは、厚生労働省の定める基準を満たすことで、独自の研修プログラムを作成し、研修医の指導を行う病院です。協力型臨床研修病院とは、基幹型臨床研修病院の研修プログラムの一部を担当する病院です。当院は基幹型臨床研修病院に指定されています。

## 臨床研修病院としての当院の役割

当院は「地域救急医療の中心的役割を担います。」を病院理念の基本方針の一つに掲げており多くの救急患者様を受け入れています。さらに、地域医療支援病院として多くの患者様を多くの医療機関よりご紹介いただいています。このような我々の特徴は、「プライマリケアの基本的診療能力の習得」を目的とする臨床研修において重要な役割を果たすことが出来る病院であると考えております。福岡記念病院は基幹型臨床研修病院として毎年 6 名の初期臨床研修医を採用しており、臨床研修制度の理念に沿って研修医の育成に努めております。臨床研修医は、上級医の指導の下に皆様の診療に携わることがございますが、日本の未来の医療を支える医師を育成するという趣旨をご理解くださいますようお願い申し上げます。

## 臨床研修制度の概要

### \* 医学教育と法に基づく臨床研修（医師法第十六条の二）

診療に従事しようとする医師は、二年以上、医学部を置く大学に付属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならない。

